

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	児童養護施設 聖ヨゼフ寮
------	--------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成26年10月4日、5日

③事業者情報

名 称：聖ヨゼフ寮	種 別：児童養護施設
代表者氏名：施設長 衛藤祐治	定 員：28名
所在地：大分県中津市永添2646番地4 TEL：0979（22）2320	

④総評

- ◇評価の高い点
- 運営理念として「児童の基本的人権と尊厳の擁護」「キリスト教精神による自己実現」「美しい生活環境の構築」を明文化している。また、理念の背景には児童憲章の精神、聖ドンボスコの精神（すなわちイエス・キリストの教えを土台とした「心のふれあい」「道理に適った助言と指導」を通して）心理的・社会的障害の克服と成熟した人格に至るまでの援助を目的としていることを文書化している。
 - ドンボスコの予防的教育法の考え方を援助手法に取り入れた養育・支援を行っている。
 - 食器は子どもたちが個々に選んだものを購入し使用している。食事の時間は幼児食事時間を30分早め、無理なく楽しみながら食事ができるよう配慮している。
 - データを外部記憶装置（NAS）に記憶し、LANを通じて情報がスムーズに共有できるシステムを構築している。情報共有を目的とした各種会議を行っている。
 - 施設入所前に権利ノートによる説明や「小さな約束を30日間守ってみよう」などのルールを用いて説明している。
 - お茶会を通して、自由な意見の発言の機会を確保したり、子ども会には棟職員は参加しないなど、意見を述べる場について工夫をしている。
 - 小学校や中学校との連絡会を開催、担当によるPTA参加、ケース会議などを通じて、アセスメントを深め自立支援計画に反映している。

改善を求められる点

- 支援姿勢や声かけ、態度が子どもにどのように映っているか、職員間の相互フォローやアドバイスを常に行い、子どもの自己肯定感を育てる支援を期待する。
子ども一人ひとりに成長の記録（アルバム等）が用意され、生い立ちの整理を子どもと職員と一緒に振り返ることのできる機会として設けることを期待する。
- 支援目標は子どもに理解できるような表現とし、それに伴う日常の努力目標は子どもと共有できるよう期待する。また、目標達成のための養育・支援内容は標準的実施方法を参考にして個々に沿った内容で記載することが望まれる。
- 子どもや保護者に対して苦情解決の仕組みをわかりやすく標記した資料の作成や就業規則に体罰禁止を明示、虐待防止マニュアルの作成が望まれる。
- 現在危機管理マニュアルを全体として見直し中であることから、広大な敷地を有し、部外者や不審者侵入等含め、子どもの安全を脅かす事例を組織として整理し、対応手順等を整備することを期待する。
- 地域全体で課題になっている養育・支援について、施設として積極的に問題提起し解決に向けて関係機関と協働して取り組むことを期待する。
- 施設が目指す養育・支援を実施するため基本方針や中・長期計画の中に、組織が職員に求める基本姿勢や目的意識の明示を望む。
- 法人理念や方針を基に、組織・業務改善計画を中長期計画を策定することを望む。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。
内部の人間には気づかない貴重なご意見を沢山いただき、大変参考になりました。頂いた評価内容をもとに、より良いケア・より良い施設を作り上げて参ります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）